

総合評価	
部門	内容
浄水場運転管理業務	<p>第4四半期において、業務品質評価の未達成項目は無かった。</p> <p>1月の寒波では、取水量を多く保ちながら水処理を行い、配水池への選択送水を行うなど、意識した運転が確認された。</p> <p>小田中浄水場急速ろ過池での更新工事においては、約1週間、水処理上の制約がある状況下でも、水量に不具合を生じることなく管理が行えている。</p> <p>草加部浄水場では、ろ過水濁度をより安定させるため、洗浄方法を検討し、逆洗時間をそろえる対策をした。</p>
収納業務	<p>検針業務において、2月期、3月期と誤検針及び誤請求が1件ずつ判明した。</p> <p>お客様へのお詫び、水道局への報告等に遺漏はなかったものの、二期連続となる誤検針を受け、受託者に対し指針確認の徹底を行うよう指示をした。</p> <p>1月期の寒波対応では、これまでのノウハウを生かした対応により、漏水被害の低減に努めるとともに、お客様センターの臨時開設、漏水調査など、非常時対応に貢献してもらった。</p>
その他業務	<p>第4四半期において、業務品質評価の未達成項目は無かった。</p> <p>1月の寒波においては、随時配水池の水位状況報告が行われていた。事前に保温対策の確認も行われていたが、凍結対策に改善の余地があった施設も確認され、迅速に対策を施したり、方針を協議するなど適切に管理できている。</p> <p>阿波第3水源における残塩低下警報や、膜処理装置停止に関する事態、久米・勝北地区での機器不具合についても、適切に対応している。</p>